

フォーミュラ・ニッポン第7戦 RACE Report 2009/08/29 オートポリス
公式予選

●小暮が今季3度目のポールポジション獲得、ロイックはQ3でコースオフ、8番手。フォーミュラ・ニッポン第7戦オートポリスでの公式予選が13:45よりスタート。天候は晴れ、標高が高いオートポリスの日差しは強く暑く感じる。Q1開始の気温と路面温度は29.1℃/48.2℃で午前中と比べると気温、路面とも上昇、ドライコンディションでの予選アタックが始まった。ロイックも小暮も午前中のユースドタイヤでコースイン、その後ニュータイヤでアタック開始、Q1を小暮が1'33"016の2番手、ロイックも1'33"023の僅差の3番手でクリア。向かえたQ2では、今度は小暮が1'32"724のベストタイムでトップに立ち、ロイックも1'32"749の2番手タイムでクリア、最後のQ3に共に7戦連続進出を決めた。そして最後のQ3は予定より8分遅れで(Q2でのイエローフラッグによる協議があり)スタート、残り6分を切ったところでロイックがQ3のアタックに入る、小暮は残り4分を切ったタイミングでコースイン最後のアタックラップに入った。そして、小暮が各セクターのベストを更新して、1'32"556のベストタイムを叩き出しポールポジションを獲得。小暮は今季これで3回目のポールポジションを獲得した。

一方のロイックはファイナルアタックのセクター3でコースオフ、すぐにコース復帰するもフロントウィングを破損してしまい、タイムアタックが出来ず、8番手に終わる。

●チームディレクター:藤井一三

「小暮選手は期待通りの走りでポールポジションを獲得してくれました。ロイックはミスをしてしまいコースオフ、クラッシュ。明日はたいへんなレースになると思いますがチーム一丸で頑張ります。」

●31号車ドライバー:ロイック・デュバル タイム:1'48"695 (8番手)

「アタックラップのセクター3で少しプッシュしすぎてしまい、タイヤが芝生に乗ってコースオフしてしまった。残念です。」

●32号車ドライバー:小暮卓史 タイム:1'32"556 (ポールポジション)

「ポールを狙っていたので、本当にうれしいです。チームのみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。明日も100%がんばるだけです。」

※ 20:05に発表された正式予選結果にてNo.31ロイック・デュバルはQ2において競技団の判定ミスにより、Q3を走行。よってQ2タイムを採用し、ポジションは10番手となった。